



2016年3月期 第2四半期 決算説明会

パイオニア株式会社
代表取締役 兼 社長執行役員
小谷 進

2015年11月10日

発表のポイント

1. 2016年3月期 第2四半期 連結決算:

- 第2四半期および上期は、売上、営業利益ともに前年同期を下回ったが、営業利益は計画を上回った

2. 2016年3月期 連結業績予想:

- 通期の業績予想は、直近の為替や消費の動向を反映させ、前回予想に対して売上は減少を見込むが、利益は据え置く

3. トピックス

- 自動運転に向けた取り組みについて

本日の説明

1. 2016年3月期 第2四半期連結決算
2. 2016年3月期 連結業績予想
3. トピックス

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いいたします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

1. 2016年3月期 第2四半期連結決算

2016年3月期 第2四半期・上期 連結業績概要

(単位:億円)

	第2四半期			上期		
	当四半期	前年同期	前年同期比	当期	前年同期	前年同期比
売上高	1,136	1,226	92.6%	2,226	2,359	94.3%
営業利益	20	31	64.7%	21	34	61.7%
経常損益	20	-11	-	14	-14	-
当期純損益*	5	-3	-	-20	-24	-

為替 平均レート	1USドル	122.23円	103.92円	+15.0%	121.80円	103.04円	+15.4%
	1ユーロ	135.98円	137.76円	-1.3%	135.07円	138.92円	-2.9%

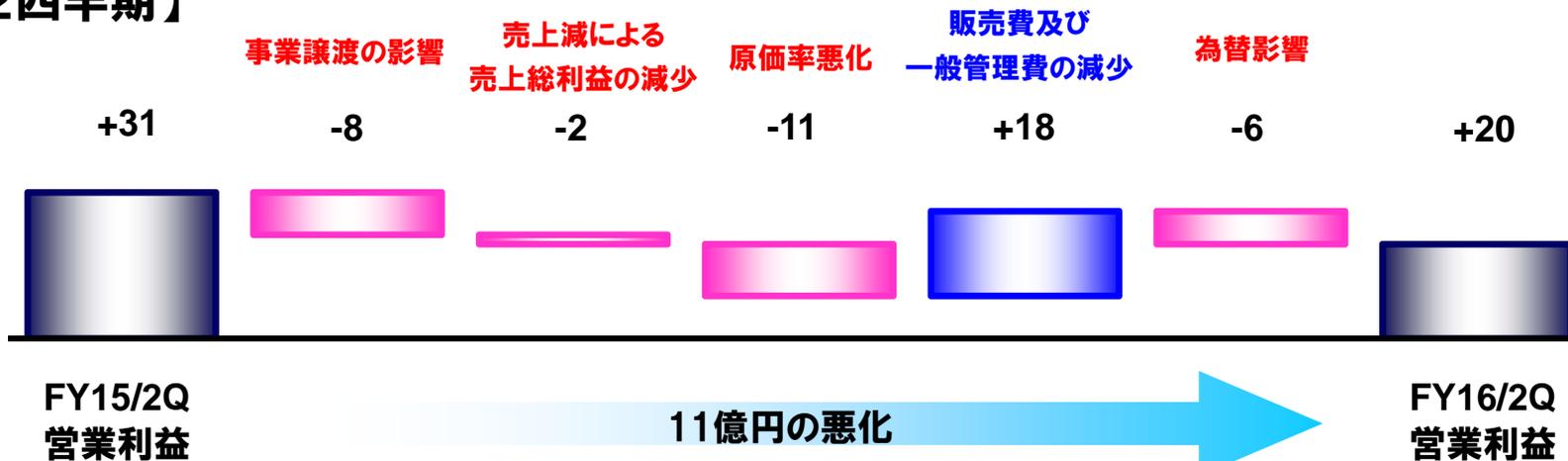
1株当たり純損益*	1.42円	-0.94円	+2.36円	-5.43円	-6.63円	+1.20円
ROE	2.1%	-1.9%	+4.0%	-4.0%	-6.5%	+2.5%
1株当たり純資産	266.80円	208.76円	+58.04円			
ROA	0.7%	-0.4%	+1.1%	-1.3%	-1.5%	+0.2%

* 親会社株主に帰属する当期純損益

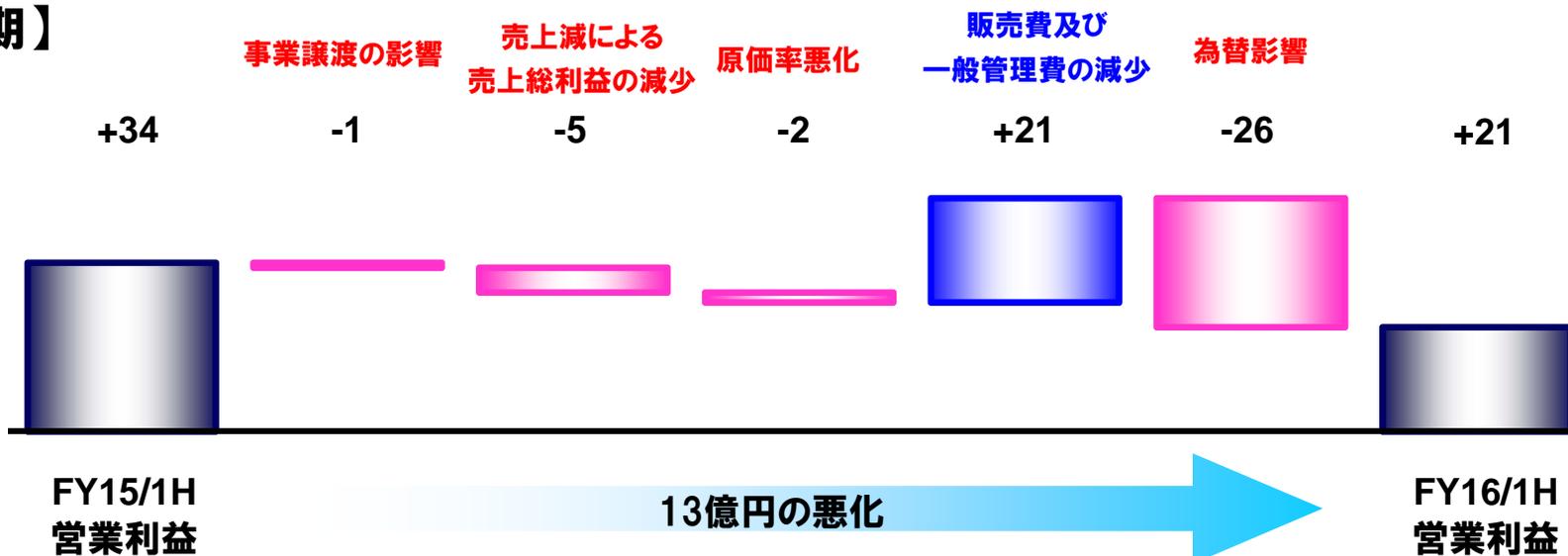
2016年3月期 第2四半期・上期 営業利益増減要因（前年同期比較）

【第2四半期】

（単位：億円）

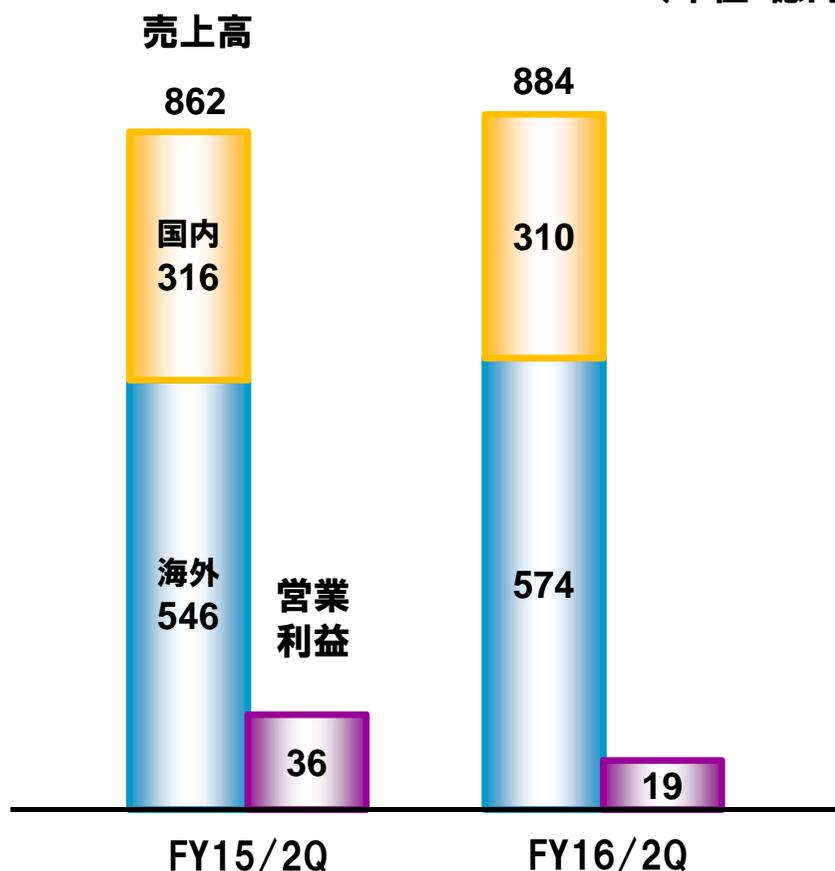


【上期】



2016年3月期 第2四半期：カーエレクトロニクス

(単位:億円)



< 売上高 > OEM比率 60% (前年同期 56%)

前年同期比	103% (国内 98%、海外 105%)
増収要因	OEMカーオーディオ 市販カーナビゲーションシステム OEMカーナビゲーションシステム
減収要因	市販カーオーディオ

< 営業利益 >

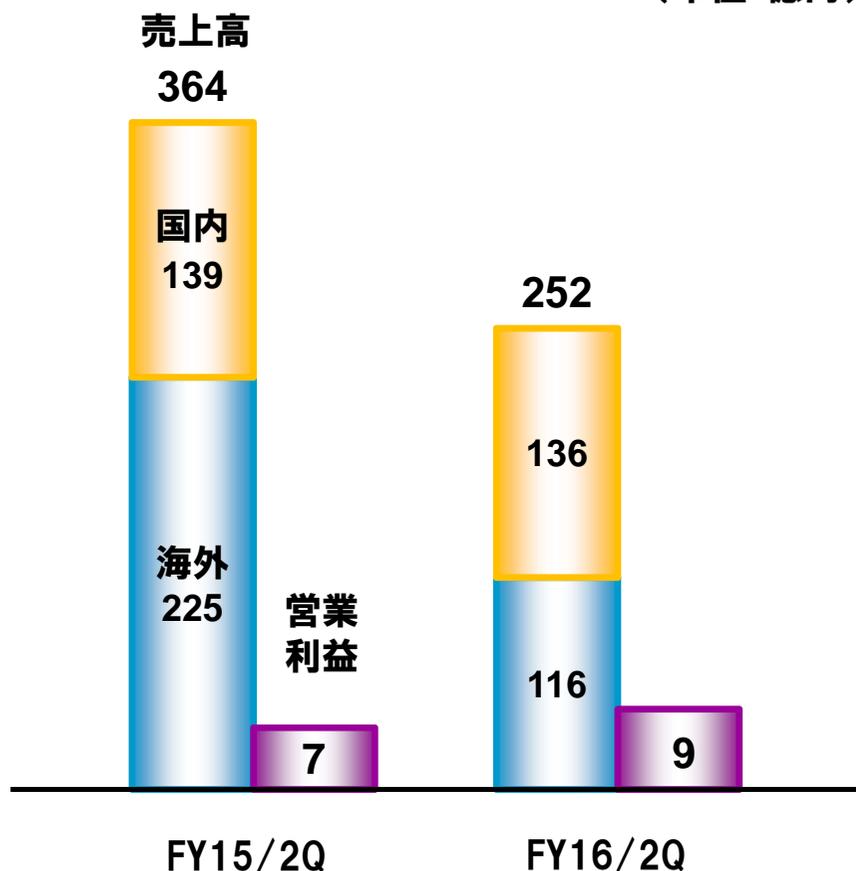
前年同期比	17億円の悪化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少(+9億円)
悪化要因	原価率悪化(-18億円) 為替影響(-5億円) 売上減による売上総利益減少(-3億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、
カースピーカー

注)セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2016年3月期 第2四半期：その他

(単位:億円) < 売上高 >



前年同期比	69% (国内 98%、海外 51%)
増収要因	FA機器
減収要因	ホームAV製品、DJ機器

< 営業利益 >

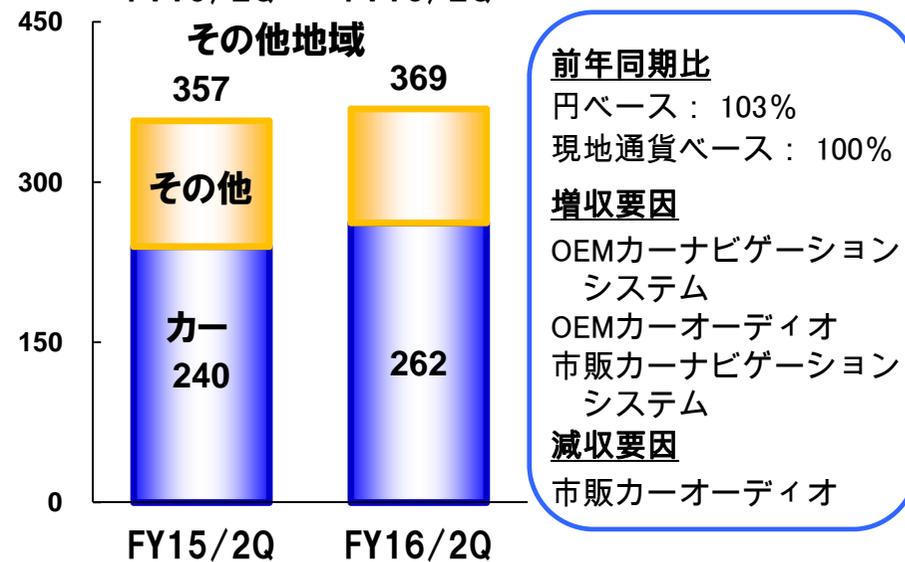
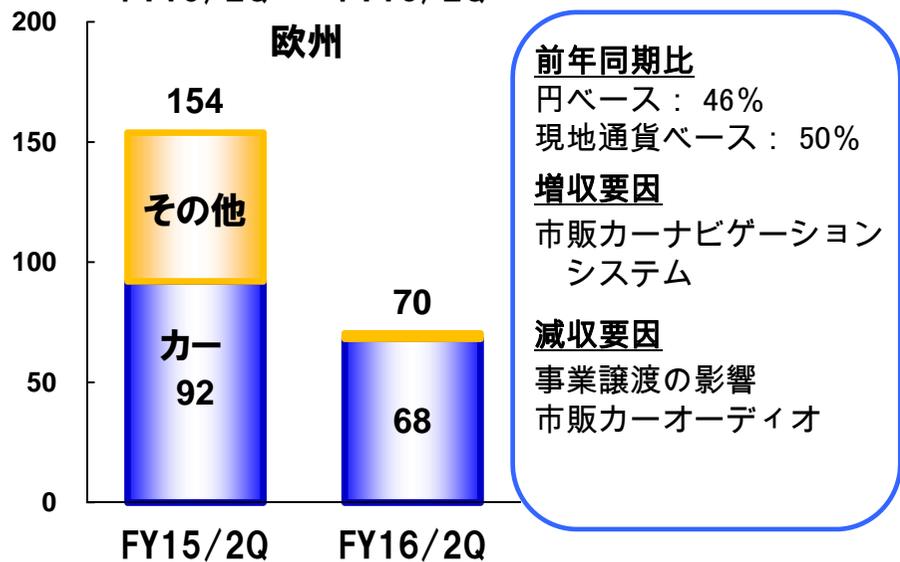
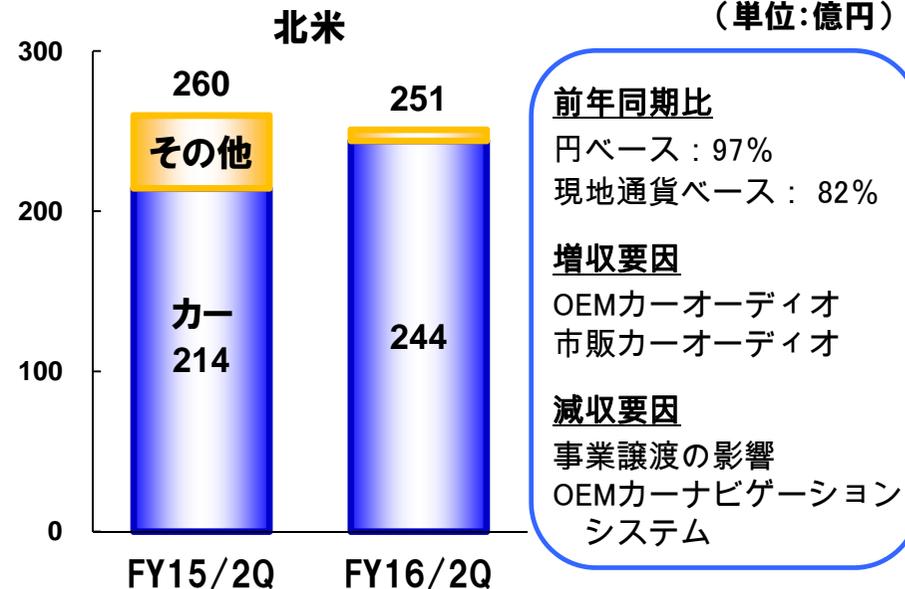
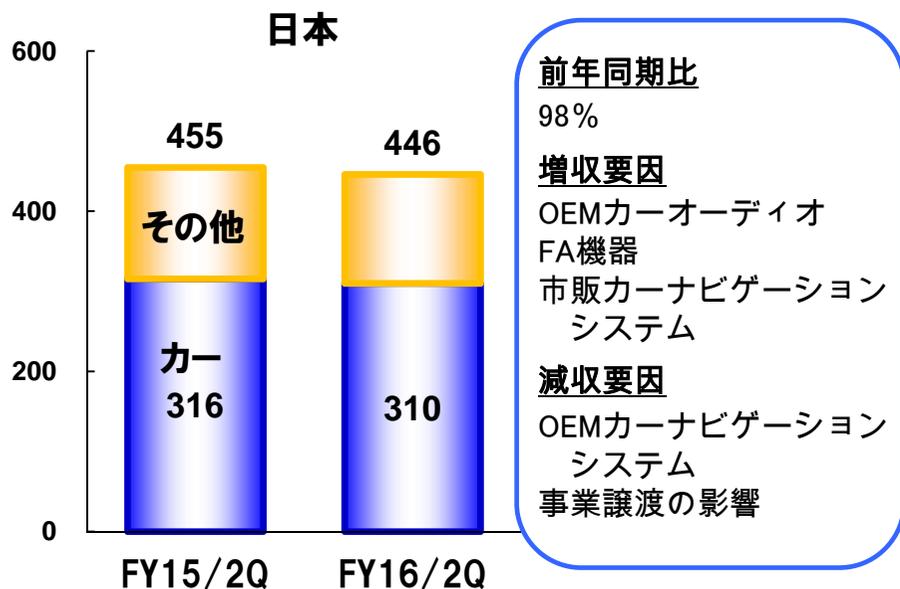
前年同期比	2億円の良化
良化要因	原価率良化(+8億円) 販売費及び一般管理費の減少(+4億円)
悪化要因	事業譲渡の影響(-8億円) 為替影響(-1億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
ブルーレイディスクドライブ、DVDドライブ、CATV関連機器、
FA機器、地図ソフト、電子部品、スピーカーユニット、
有機ELディスプレイ、EMS(電子機器受託製造サービス)、
DJ機器(生産・販売受託)、ホームAV(生産・販売受託)

注) 1.セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2.FY15の実績には、2015年3月に譲渡した事業の売上、営業損益が含まれています。

2016年3月期 第2四半期：地域別売上高

(単位:億円)

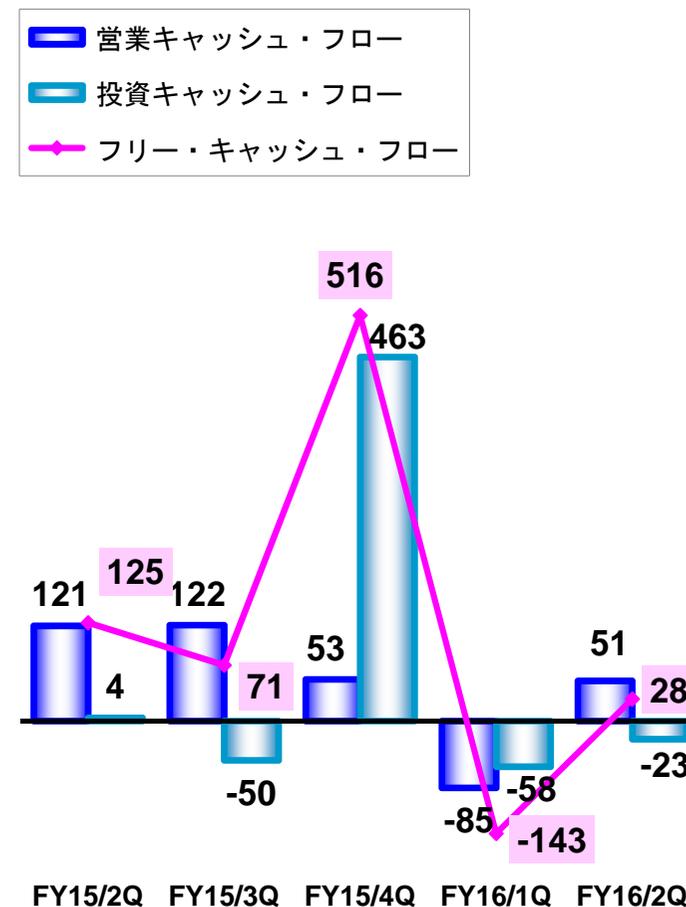


2016年3月期 第2四半期・上期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

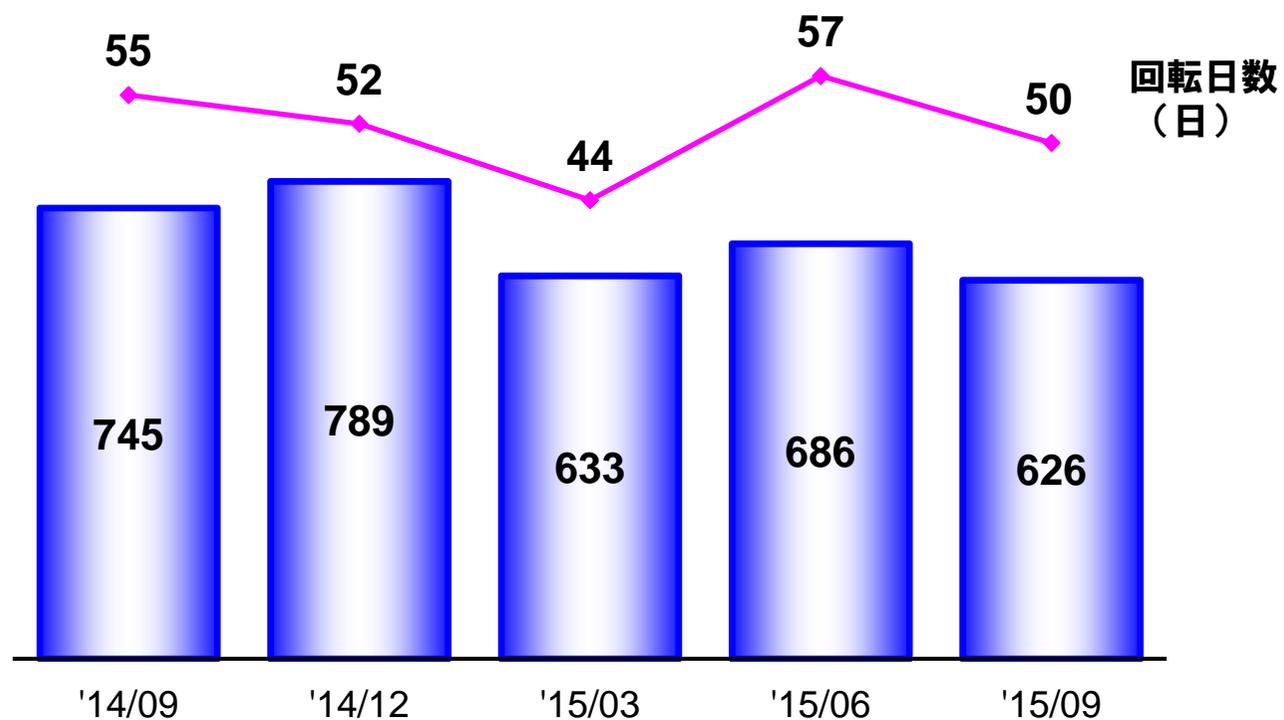
	第2四半期		上期	
	当四半期	前年同期	当期	前年同期
税金等調整前当期純損益	20	2	10	2
減価償却費	67	58	137	112
退職給付に係る負債の増減	-8	-5	-12	-8
固定資産除売却損益	-0	-13	-0	-13
投資有価証券売却損益	-4	-5	-4	-5
売上債権の増減	-42	-24	-7	61
棚卸資産の増減	26	7	-19	-23
仕入債務の増減	2	4	2	6
未払費用の増減	14	59	-99	50
その他	-25	38	-42	-12
営業キャッシュ・フロー	51	121	-34	171
投資キャッシュ・フロー	-23	4	-81	-44
財務キャッシュ・フロー	-47	-93	-56	-103
現金・現金同等物の換算差額	-12	11	-7	9
フリー・キャッシュ・フロー	28	125	-115	127

現金・現金同等物の増減	-32	43	-178	33
現金・現金同等物の残高	338	372		
NETキャッシュ残高	44	-404		

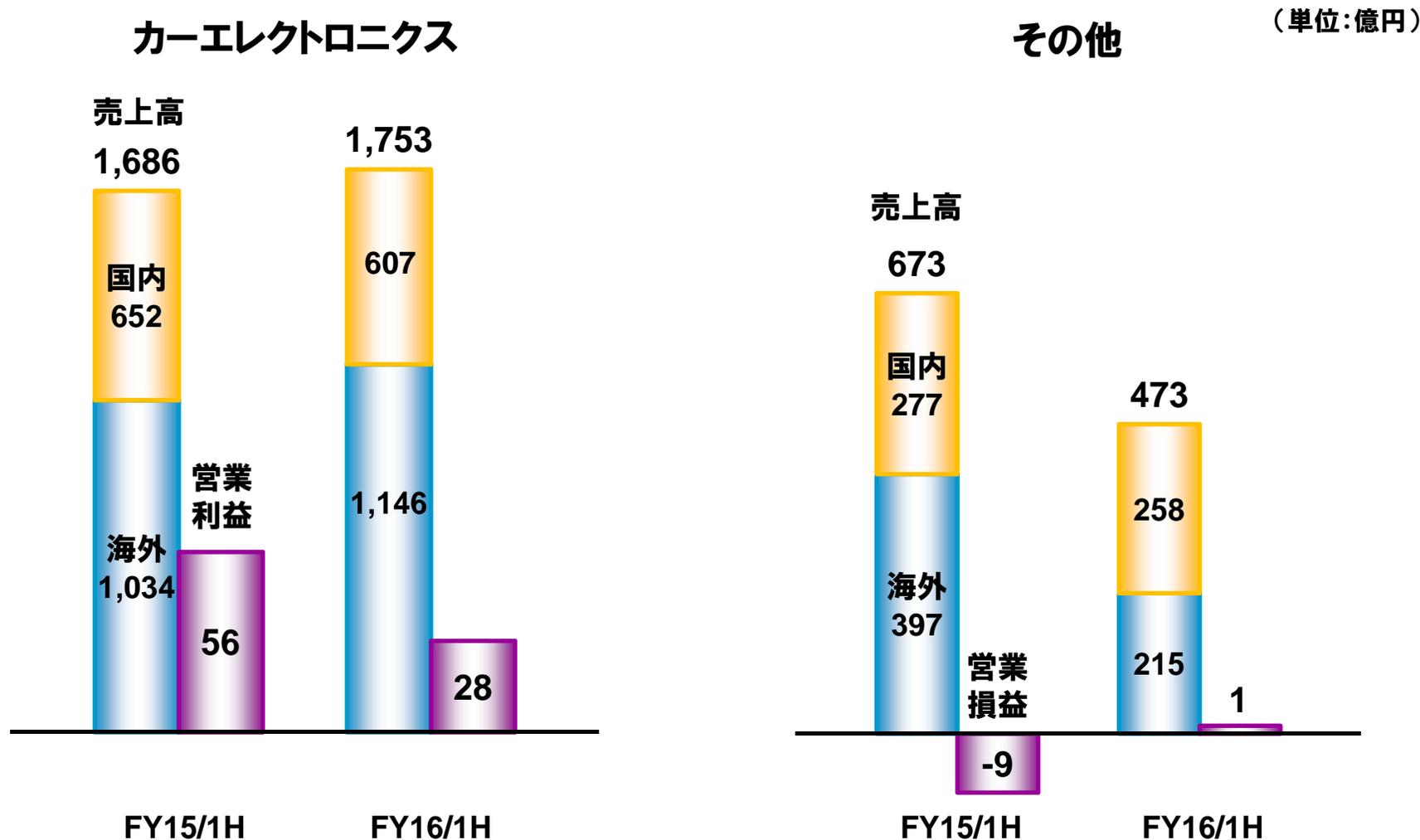


2016年3月期 第2四半期 棚卸資産

(単位:億円)



2016年3月期 上期 セグメント別売上高・営業損益



注) 1.セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
 2.FY15の「その他」の実績には、2015年3月に譲渡した事業の売上、営業損益が含まれています。

2. 2016年3月期 連結業績予想

2016年3月期 通期連結業績予想

(単位:億円)

	今回予想	前回予想	前期実績	前期比
売上高	4,650	4,870	5,017	92.7%
営業利益	80	80	78	102.9%
経常損益	60	60	-29	-
当期純利益*	10	10	146	6.8%

		今回予想	前回予想	前期実績
為替前提 レート	1USドル	121.90円	121.84円	109.93円
	1ユーロ	135.04円	134.79円	138.77円

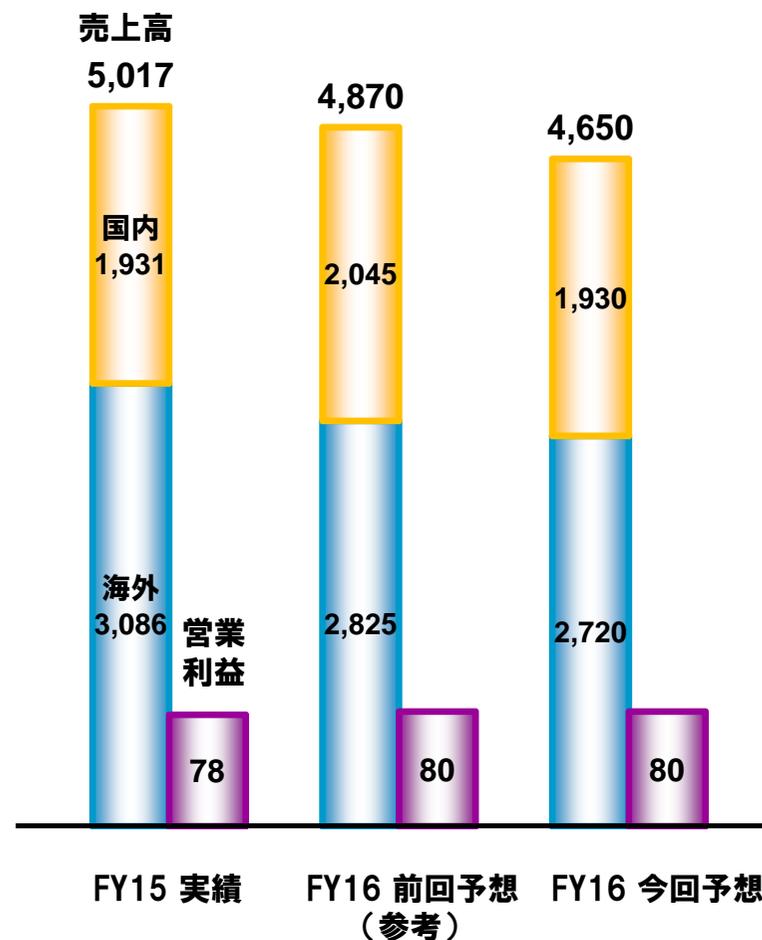
	今回予想	前回予想	前期実績	前期比
1株当たり純利益*	2.72円	2.72円	39.85円	-37.13円
ROE	1.0%	1.0%	16.8%	-15.8%
1株当たり純資産	275.00円	279.67円	277.05円	-2.05円
ROA	0.3%	0.3%	4.5%	-4.2%

* 親会社株主に帰属する当期純損益

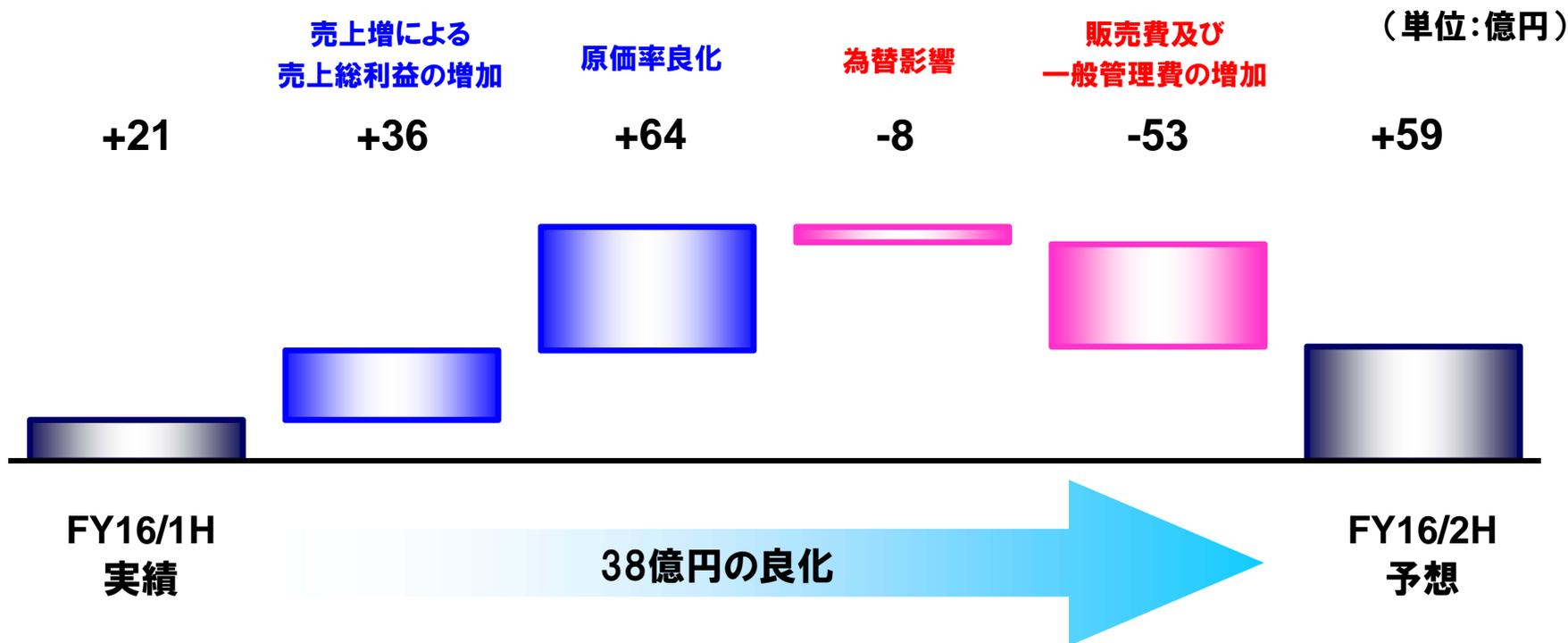
注) 1. 残り6カ月間の予想レートは、1USは122円、1ユーロは135円を前提にしています。

2. 1円の円安インパクト(残り6カ月間)は、売上高では、USドルは約10.7億円、ユーロは約1.1億円、営業利益では、USドルは約▲1.3億円、ユーロは約0.7億円。

(単位:億円)



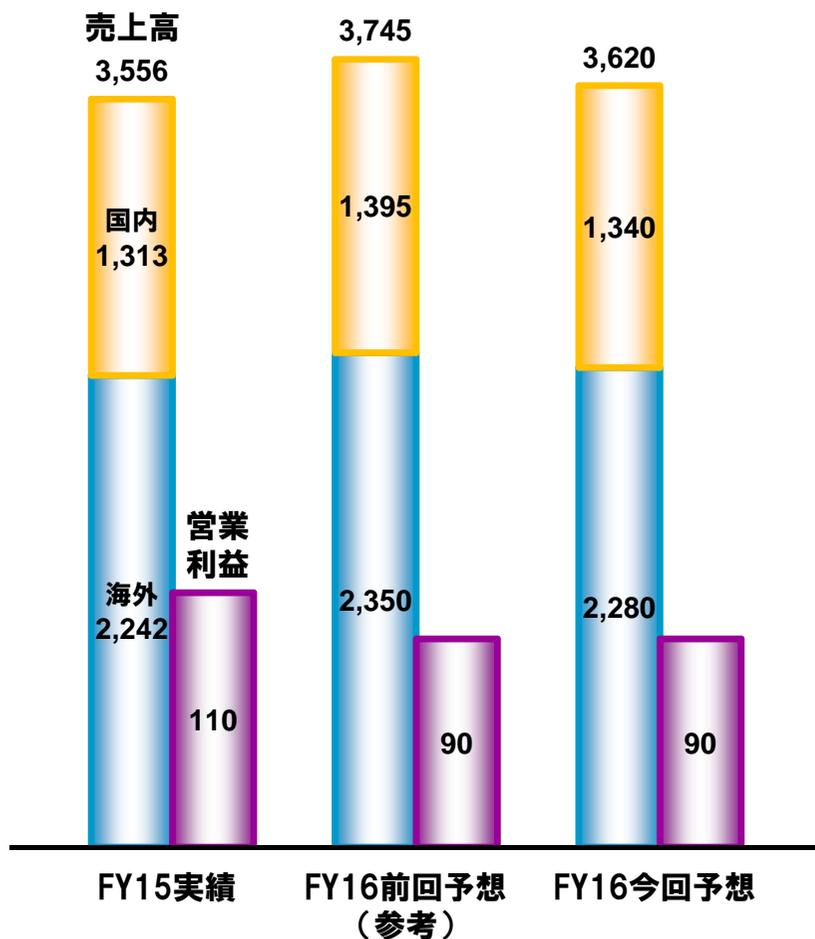
2016年3月期予想：下期 営業利益（上期との比較）



- カーエレクトロニクスは、市販は、カーオーディオ、カーナビゲーションともに下期に新製品の市場導入が本格化することから、増収を見込む。OEMは、国内向けで増収を見込む。その他は、光ディスクドライブ、FA機器等で増収を見込む
- 減価償却費とカーOEM先行開発費用はやや増加するが、カーエレクトロニクスのコスト削減効果により原価率が良化
- 売上増に伴い、販売費及び一般管理費は増加

2016年3月期予想：カーエレクトロニクス

(単位:億円)



注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

< 売上高 > OEM比率 60% (前期 57%)

対前期	102% (国内 102%、海外 102%)
増収要因	OEMカーオーディオ、OEMカーナビゲーションシステム、市販カーナビゲーションシステム
減収要因	市販カーオーディオ
対前回予想	97% (国内 96%、海外 97%)
増収要因	OEMカーナビゲーションシステム
減収要因	市販カーオーディオ、OEMカーオーディオ

< 営業利益 >

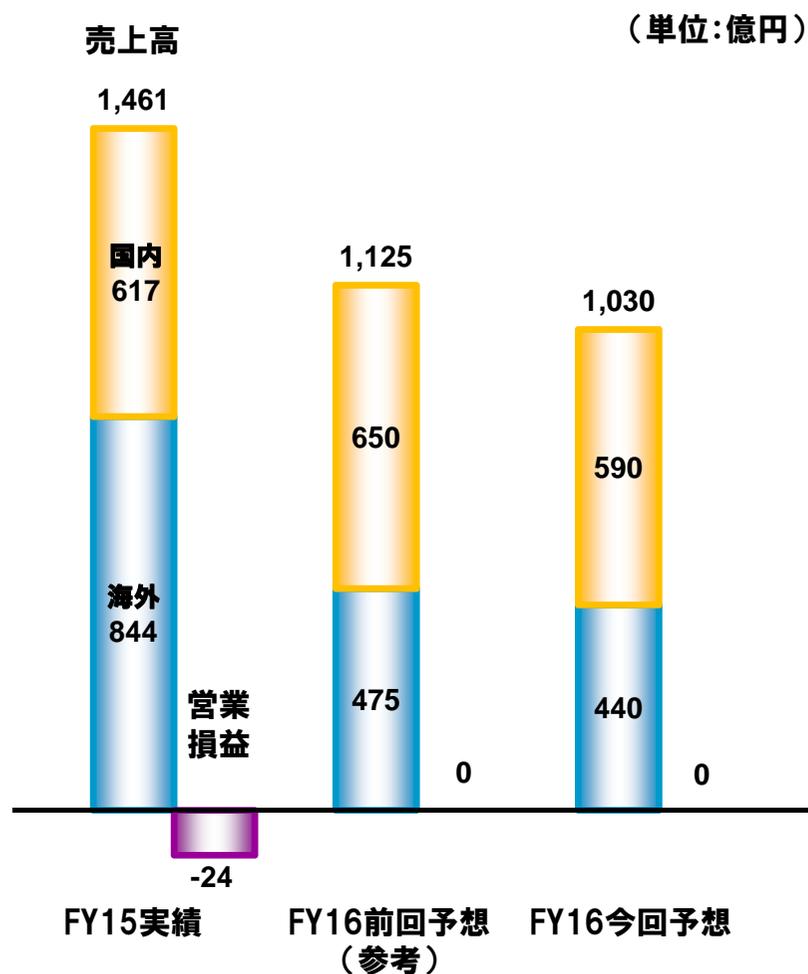
対前期	20億円の悪化
良化要因	原価率の良化 (+33億円) 販売費及び一般管理費の減少 (+11億円)
悪化要因	為替影響 (-37億円) OEM先行開発費用の増加 (-20億円) 売上減による売上総利益の減少 (-7億円)
対前回予想	変化なし

< 出荷台数 >

(単位:千台)

	FY15実績	FY16前回予想	FY16今回予想
市販カーナビ	689	710	700
市販カーCD	7,557	7,230	6,250
市販カーAV	1,665	1,760	1,520

2016年3月期予想：その他



< 売上高 >

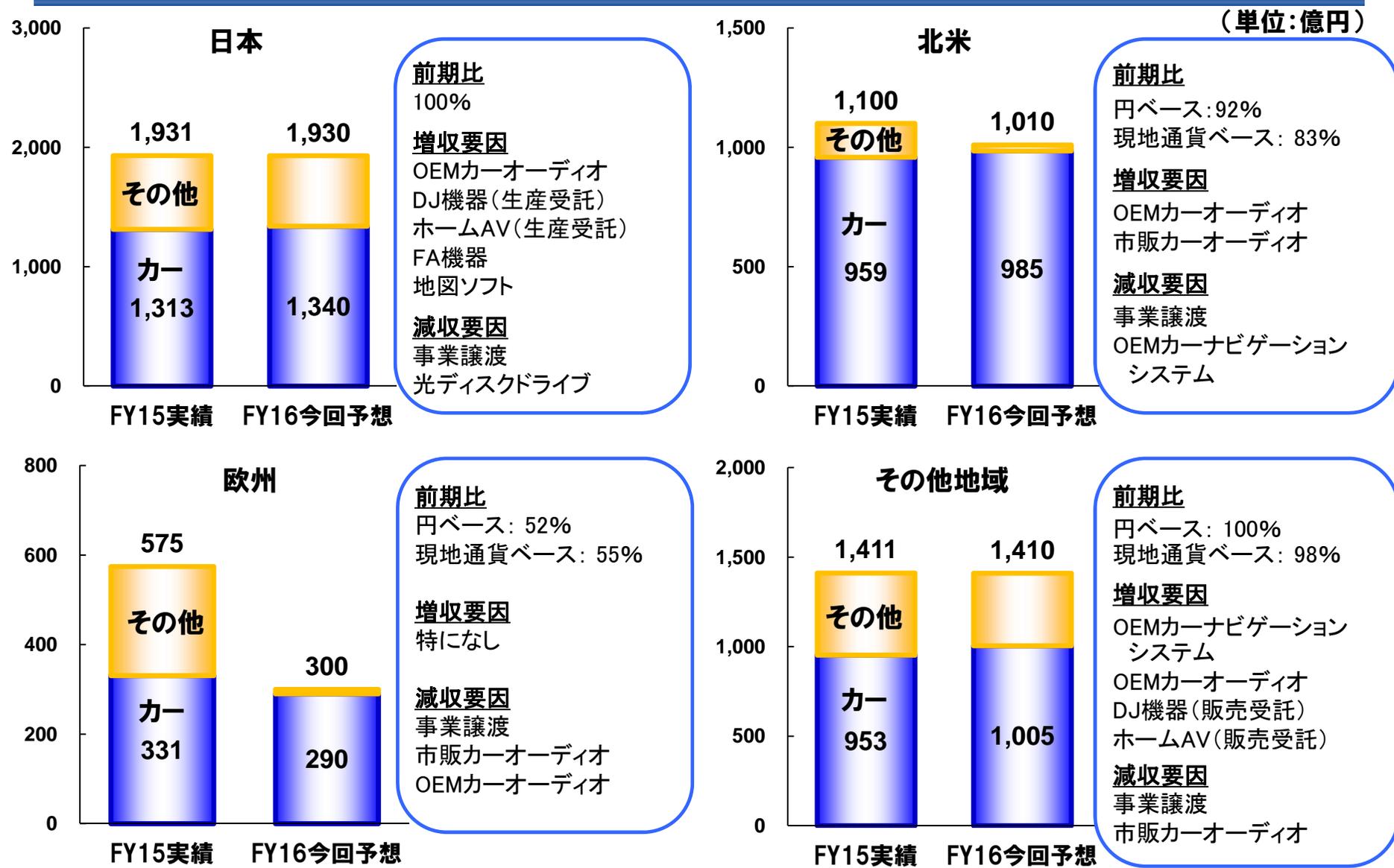
対前期	71% (国内 96%、海外 52%)
増収要因	FA機器、地図ソフト
減収要因	ホームAV製品、DJ機器
対前回予想	92% (国内 91%、海外 93%)
増収要因	地図ソフト
減収要因	光ディスクドライブ、CATV関連機器、ホームAV(生産受託)、DJ機器(生産受託)

< 営業損益 >

対前期	24億円の良化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少(+146億円)
悪化要因	売上減による売上総利益の減少(-82億円) 原価率の悪化(-35億円) 為替影響(-5億円)
対前回予想	変化なし

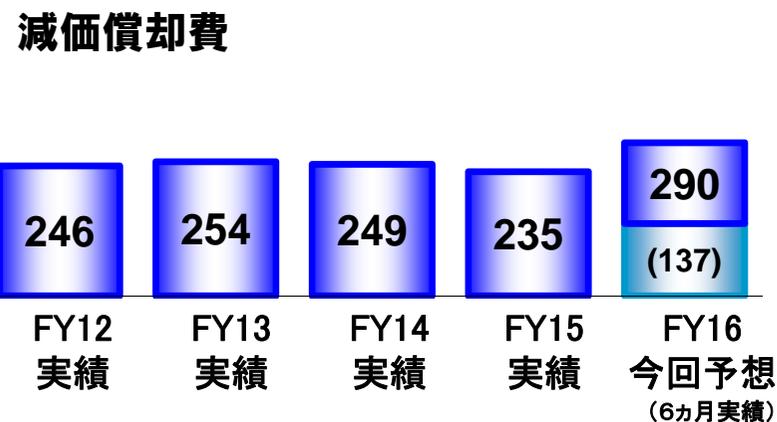
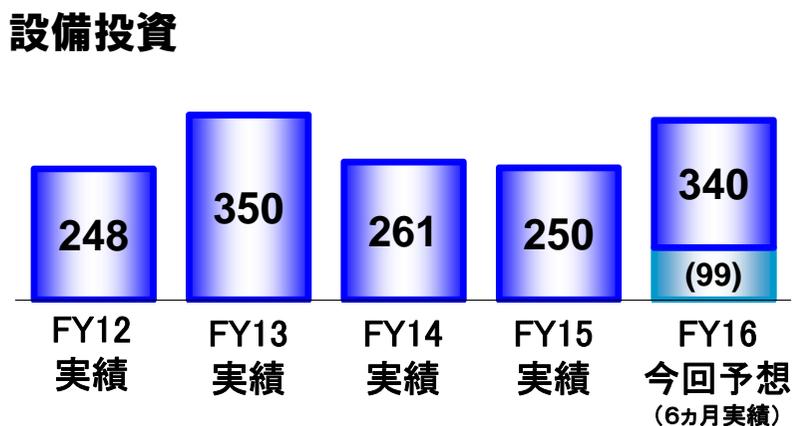
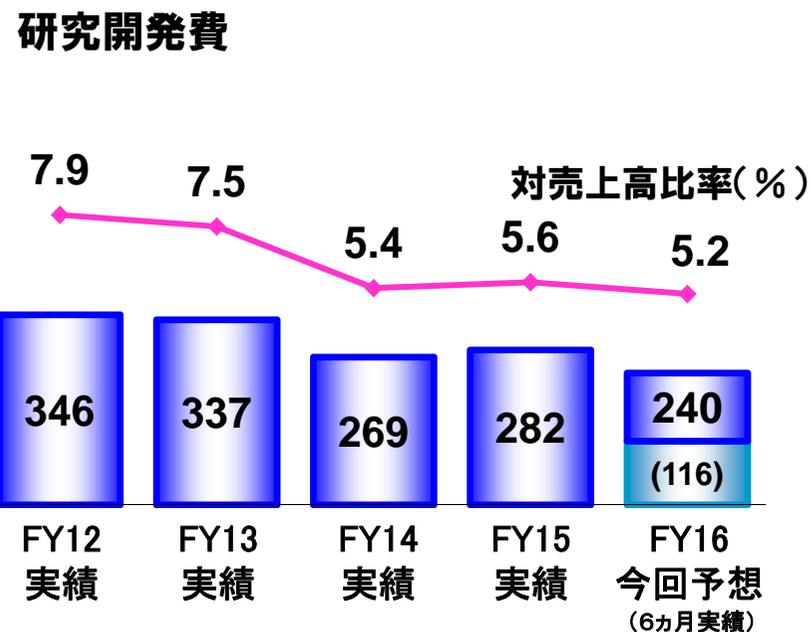
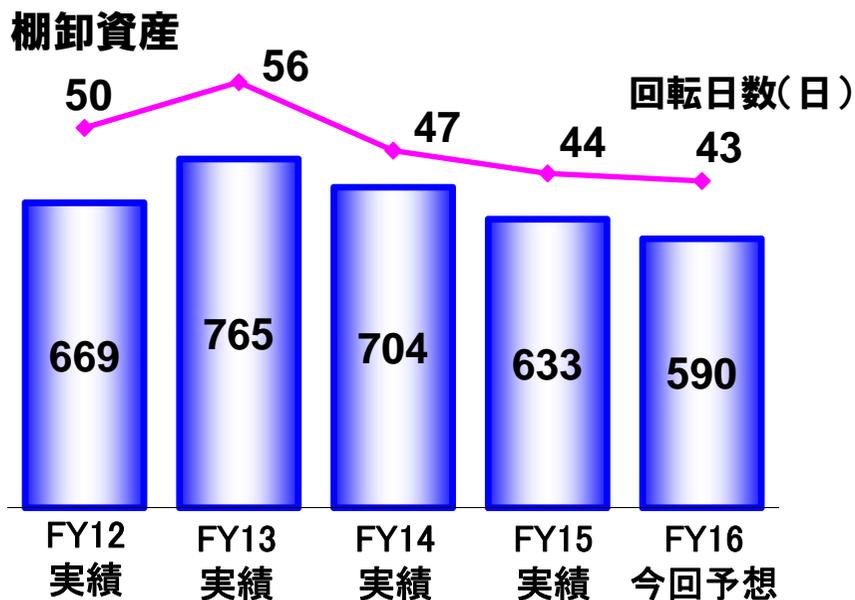
注) 1.セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2.FY15の実績には、2015年3月に譲渡した事業の売上、営業損益が含まれています。

2016年3月期予想：地域別売上高



2016年3月期予想：棚卸資産、研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位:億円)



2016年3月期予想： キャッシュ・フローおよび財務指標

(単位：億円)

	FY14実績	FY15実績	FY16予想
営業キャッシュ・フロー	342	346	210
投資キャッシュ・フロー	-219	369	-240
財務キャッシュ・フロー	-9	-554	-120
フリー・キャッシュ・フロー	124	714	-30

純資産	778	1,071	1,060
自己資本比率	22%	31%	34%
借入金	874	342	240
D/E比率	1.2倍	0.3倍	0.2倍
現金及び預金	354	522	370

注) 1. 「投資キャッシュ・フロー」、「現金及び預金」には、3ヵ月超の定期預金を含んでいます。

2. D/E比率=有利子負債÷(純資産-非支配株主持分)

3. トピックス

自動運転に向けた取り組みについて

自動運転(自動運転センシング・知能システム部分)に必須の技術

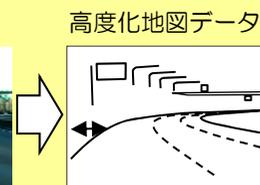
① 3D-LiDAR

自動運転車両に不可欠な
3次元走行空間センサー



② 高精度／高度化地図

自動運転用に信号や
車線等の情報を含む
詳細な地図データ



パイオニアの強み

光技術



ナビ技術

(高精度位置測位)



プローブデータ・
クラウド基盤



地図制作子会社による
地図制作ノウハウ
Increment P

- ・本年8月に原理検証試作を完了
- ・小型化・低価格化を目指す



- ・高精度地図構築に向けた国家プロジェクトへの参画
- ・3D-LiDAR等を活用した高度化地図制作

普及に向けて、グローバルなアライアンス・国家プロジェクトの活用

- ・グローバルに一般
車両に搭載を目指す



- ・一般車両の3D-LiDARを活用した、グローバルでの低コストで効率的な高度化地図の整備・運用・管理の実現

パイオニアは、来たる自動運転の時代に「なくてはならない会社」を目指す

Pioneer